

## 原爆投下から75年 広島平和記念式典開催

### 核廃絶へ「連帯」を



原爆投下による犠牲から75年の「原爆の日」を迎えた広島。コロナ禍の中、原爆慰霊碑の前では市民たちがマスク姿で祈りをささげた。6日午前5時55分、広島市中区 (撮影・安部隆彦)

#### 平和宣言

### 禁止条約批准 政府へ訴え 広島被爆75年の式典

中国新聞

広島市 広島市中区土庫町東  
15 774-6677  
中国新聞社  
〒730-0811広島市中区  
本町1-1-1  
中国新聞 2020

特報

中国新聞の購読と申し込み  
012014921506

### 子ども代表による平和への誓い

## 平和への誓い



長倉 唯



大森 駿佑

「75年は草木も生えぬ」と言われた広島。75年が経った今、広島は人々の活気に満ちあふれ、緑豊かな町になりました。この町で、家族で笑い合い、友達と学校に行き、公園で遊ぶ。気持ちよく明日を迎え、様々な人と会う。当たり前の日常が広島には広がっています。しかし、今年の春は違いました。当たり前と思っていた日常は、ウイルスの脅威によって奪われたのです。当たり前の日常は、決して当たり前ではないことに気付かされました。

そして今、私たちがそれぞれが幸せを感じていきたいと思います。75年前、「一緒に笑い大切な人と過ごす日原が、奪われしました。昭和20年(1945年)8月6日 午前8時15分 目がくらむまぶしい光、耳にきりぎりす大きな音、人間が人間の姿を失い、無惨に焼け死んでいく町を包み込んだ。つらさ何とも言い難い悲劇、血に染まった無惨な光景の広島を、親子連れはつくったのです。『あのようなことは一度と起きてはならない』広島を復興させた被爆者の力強い言葉は、私たちの心にとけ込みます。人間の手によって作られた核兵器をなくすには、私たちが、私たちが人間の意思です。私たちの未来に、核兵器は必要ありません。私たちは、互いに認めあう優しい心を持ち続けたい。私たちは、相手の思い寄り添い、笑顔で暮らせる平和な未来を築きます。被爆地広島で育つ私たちは、当時の人々があきらめずつないでくださった希望を未来へとつないでいきます。令和2年(2020年)8月6日  
こども代表

広島市立安北小学校6年 長倉 唯

広島市立安野南小学校6年 大森 駿佑

広島への原爆投下から75年の節目となる「原爆の日」を迎えた6日、平和記念式典が開催されました。松井広島市長は核兵器禁止条約に賛同しない日本政府に署名・批准を求めましたが、安倍首相は昨年同様、条約について言及しませんでした。

「核」のない平和な世の中にしていくために、私たちは声を上げていかななくてはなりません。

8/6付 中国新聞号外より

# 「いのち」を守るために自分たちに何ができるのかを考え 戦争のない世の中をめざそう!